

2010 AUTOBACS SUPER GT 第2戦 OKAYAMA GT 300km RACE

2010年4月3日(土)~4月4日(日)

決勝 レポート

場所:岡山国際サーキット / 天候:晴天 / 気温: 18℃ / 観客動員数:16,000人



2010 AUTOBACS SUPER GT 第2戦の決勝が岡山国際サーキットで行なわれた。昨日に続き快晴に恵まれ暖かい岡山だった。午前9時のフリー走行では35秒台で周回している。トップは33秒台であるが充分10位以内を狙える。

4月4日(日)

決勝は午後2時にスタート。山野の正確なドライブで15位で戻ってくる。3周目14位、タイムも1分35秒台、まずまずである。8周目、前は#27 マイナス0.7秒差、後ろは#11。9周目、#11に抜かれ15位に。トップ争いは#86#46、少し離れて#31、#19、#2と続く。21周目、順位は変わらず、前は#9 マイナス7秒、後ろは#74 プラス



13秒。LEGACY B4のラップタイムは38秒台に落ちている。トップは36秒台である。27周目、39秒台まで落ちる。ドライバーより無線で「タイヤがしんどい」との連絡。チームは早めのタイヤ交換を決



断、佐々木に後半を託す。30周目ピットイン、ロングステイットを考慮し固めのタイヤに替えて佐々木を送り出す。46周目13位、タイムは38秒台。やはりタイヤが固い分、タイムが伸びない。前は#74、後ろは#26 プラス23秒。52周目、10位#27には47秒の遅れがあり、自力での10位はかなり厳しい状況。62周目、#7のコースアウト、#27のピットインなどで11位に。70周目、



www.rdsport.net

#27に抜かれ再び12位に。その後も佐々木は懸命に走るがやはりタイムが伸びず、結果順位を上げる事は出来ず12位フィニッシュとなった。なお、レースは#46 アップスタート MOLA Zが制し、500クラスは#18 ウィダー HSV-010が優勝した。



■本島監督 コメント

今日はドライバーに頼りきりのレースでした。本当に二人とも頑張ってくれました。結果は12位という事で課題は山の様にあります。とにかく『マシンをいかにもっと速くするか』です。空力面、シャーシ面、やれることはすべてやって、次の富士ではもっと上の順位を目指したいと思います。



■山野 哲也 コメント

今回の岡山は開幕戦鈴鹿と似たレース展開となりました。ツイステイな岡山国際サーキットではレガシィの前後バランスをとることが決してイージーではない状況でした。昨年から引き続けているレガシィでの参戦ですが、決勝では5戦目にしてトラブルやエラーから解放されました。これは”信頼性”という意味でとても有意義な結果です。スタート直後は充分前のマシンについていけましたが、5ラップ目以降は徐々に引き離されました。上位でフィニッシュするためには決勝に強いマシンであることが必要です。時間はかかりそうですがシーズン中盤に向け、チーム一丸となっていきたいと思っています。



■佐々木 孝太 コメント

今回はトラブルなく走りきることができました。入賞まであと少しという結果でしたが、確実に進歩していると思います。チームの目標は“表彰台”ですので、もっともっとレガシィB4を進化させ、スバルファンの皆様のご期待に応えたいと思います。

予選の詳細に関しては SUPER GTホームページ <http://supergt.net/jp/>

またSUBARUモータースポーツニュース <http://www.subaru-msm.com/news/> もご覧ください

2010年4月9日
SUBARU LEGACY B4
TEAM アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net